



grass valley

T2™ 4K Series

DIGITAL RECORDER/PLAYER

リリースノート

Software Version 3.3.0.1579(2020年11月)

www.grassvalley.com

使用上の注意事項

VGA ディスプレイの接続について

VGA ディスプレイを本機に接続する場合は、本機の電源がオフの状態で行ってください。電源が入っている状態でディスプレイの接続、もしくは取り外しを行うと本機が再起動するおそれがあります。

USB 機器の接続について

本機の録画、もしくは再生中に USB 機器を接続したり、取り外したりしないでください。録画、もしくは再生中の映像・音声途切れるおそれがあります。

外部ストレージ機器へのエクスポートについて

本機に USB ハードディスクなどを接続してファイルエクスポートする際は、接続する機器が NTFS でフォーマットされていることをご確認ください。FAT32 でフォーマットされている場合、本機は 4GB 以上のファイルを接続した機器にエクスポートすることができません(警告メッセージが表示されます)。接続する機器が FAT32 でフォーマットされている場合は、他のパソコンへ接続して NTFS でフォーマットするか、ファイルシステムを NTFS へ変換してください。また、HPFS (Macintosh でフォーマットされたディスク) や、Linux 等でフォーマットされたディスクは使用できません。

ウイルスソフトウェアのインストールについて

本機にアンチウイルスソフトウェアをインストールしないでください。アンチウイルスソフトウェアをインストールするとディスクアクセスなどのパフォーマンスが下がるため、録画・再生が停止したりコマ落ちが発生するおそれがあります。また、本機に USB メモリやハードディスクを接続する場合は、PC を使用してあらかじめそれらがウイルスに感染していないことを確認してから本機に接続してください。

機能追加

- OSD で 60 / 50p フォーマットのタイムコード表示をサポート。
- 他の T2 4K で収録中のクリップをプレーヤーにロード、再生をサポート。
- 4K クリップの Fill/Key 再生をサポート (T2 4K Plus シリーズのみ)。
- FTP によるファイルインポートをサポート。
- 収録中クリップの XDCAM ドライブへのエクスポートをサポート。
- DNxHR (HQ/SQ/LB) MXF クリップのネイティブ再生をサポート。
- 4K Grass Valley HQX AVI から DNxHR (HQ/SQ/LB) MXF への変換をサポート。

更新履歴

以下の不具合を修正・改善しました。

- 4K (DCI) 映像をピクセル比 1:1 で表示しない。
- 生成した静止画の色調がオリジナルの動画と異なる。
- フォーマットがプレーヤーとマウントしたプレイリスト間で異なると、プレイリストイベントのフレームレートが不正になる。
- VTR モードで 00:00:00:00 を In 点に設定すると、In 点のマージンがセットされない。
- タイムコードチェイスとファイル変換が同時に実行されていると、I/O モードの切り換え、もしくは T2 の再起動/シャットダウンができない。
- 同期再生モードでシャトル/VAR 操作をすると T2 がフリーズする。
- ASIO デバイス設定で出力しないチャンネルをアサインする設定をすると、ASIO デバイスから出力される音声の同期がずれる。
- 収録を強制終了すると次回の収録ができない。
- ProRes クリップを追っかけ再生するとログに'Delay Detect'が記録される。
- 収録中の DNxHD 36 クリップが Bin に登録されない。
- I/O モードを変更してもリモート中の再生ステートがリセットされない。
- 同期再生中にシャットダウン/再起動を行うと T2 が強制終了する。
- 再生停止位置が下位フィールドの場合でも、上位フィールドの表示を示すマーカーが表示される。
- SDI Level B 信号入力時に EtoE, R1 モニターアウトが動作しない。
- T2 4K クリップで作成した XDCAM HD 35M クリップが Sony Content Browser で読み込めない (SFDC00730462)。
- プレーヤーのフレームレート設定がマウントしたクリップと異なる場合(かつソースタイムコードを表示する設定を選択)、2 つの連続するフレームに同じタイムコードが表示される。
- プレーヤーで設定したスキャンタイプがマウントしたクリップと異なる場合、打ったマーカーの位置が常に 00:00:00:00 起点の表示になる。
- VTR モードで Cue up が指定した位置よりも 1 フレーム前にセットされる(フロントパネルモードのみ)。
- In・Out 点指定の収録を行った後、固定長収録を行うと収録が停止しない。
- 「リモート制御がオンの時、ローカル操作を許可する」を有効にしても同期再生モードを終了できない。
- 変更した ASIO デバイスの設定が保持されない。